小松市内水ハザードマップ

1/11,000

対象地区④　符津、木場、粟津、矢田野、月津

令和8年3月作成

内水氾濫と洪水氾濫

■内水氾濫とは・・・・

短期間の集中的な大雨により下水道の排水が追い付かず、排水路や側溝、マンホールから雨水があふれて土地や建物が水に浸かってしまう現象です。浸水害とも呼ばれ、特に市街地などで発生する傾向にあります。

■洪水氾濫とは・・・・

長時間の大雨により河川を流れる水により堤防が決壊したり、堤防からあふれることで土地や建物が水に浸かってしまう現象のことを言います。

■内水ハザードマップと洪水ハザードマップの違い

内水と洪水では、想定している条件や浸水想定区域が異なるため、別のマップになっています。
両方のマップで浸水被害の危険性を確認しましょう。
洪水氾濫に関する詳細な情報は、デジタル版水害ハザードマップや最新の洪水ハザードマップをご確認ください。

対象の地区

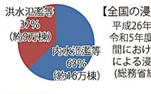
緊急時の連絡先

消防	119
警察	110

小松市役所（代表）
0761-22-4111

内水氾濫の被害について

国内の浸水被害では、内水氾濫は洪水氾濫に比べると発生頻度が高く、平成26年度から令和5年度の10年間においては洪水氾濫によって浸水した建物より多くの建物が浸水しています。



【全国の浸水棟数】
平成26年度から令和5年度の10年間における氾濫による浸水棟数（総務省統計局）

過去の浸水被害について

令和4年8月4日、小松観測所では3, 6, 12, 24時間の各降水量が観測史上最大を記録。6時間で最大180mmの雨が降り、8月の1か月分の平均値を上回った。
小松市内に緊急安全確保、記録的短時間大雨情報が発表され、市内各地で床上、床下浸水や道路の冠水が相次いだ。

浸水した区域はデジタル版水害ハザードマップで確認できます。

内水氾濫の想定条件

この内水ハザードマップは、想定される最大規模の降雨が発生した場合(流域全体に24時間総雨量439mm、ピーク時の１時間あたりに130mmの雨量)に、排水路やマンホール等から溢れる水によっておこる浸水の範囲やその深さを表したものです。令和7年6月10日に作成された「雨水出水浸水想定区域図」を基に作成しています。洪水氾濫が同時に発生した場合や雨の降り方によってはこのマップに示されていない場所でも浸水したり、浸水深もより深くなる場合がありますので注意してください。

避難情報と防災気象情報について

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
＜警戒レベル４までに必ず避難！＞			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

（大 災害危険度 小）

※1：警戒レベル1は必ず発令される情報ではありません。
※2：警戒レベル3は、高齢者以外の人も必要に応じ自主的に避難するタイミングです。
※3：避難経路上に土砂災害等の危険がある場合や指定避難所や避難場所まで の距離が遠い場合などは、警戒レベル3高齢者等避難で避難してください。

排水ポンプ場とは

放流先の川や湖沼の水位が上がって水路への逆流を防止するために、水門を閉めてポンプによって強制的に排水する施設です。
放流先の水位が高く、洪水の恐れがある場合は、洪水の発生を避けるため緊急停止（運転調整）する場合があります。

※最新の情報は小松市HPやこまつ防災アプリを確認してください。

指定避難所

避難所シンボルの土砂災害・浸水のマークは、それぞれの災害における開設適否を表します。

校下・地区	名称	所在地	開設対象の災害 洪水・内水	開設対象の災害 土砂災害	浸水時に利用できる階
符津	南部中学校	島町又43	○		全て
木場	木場小学校	木場町わ1	○	○	全て
粟津	こまつドーム	林町荳5	○	○	全て
月津	月津小学校	月津町工113	○	○	全て
串	串小学校	串町乙1-1	○	○	全て
矢田野	矢田野小学校	下粟津町ワ101-1	○	○	全て

指定緊急避難場所

自動車での避難ができます。

校下・地区	名称	所在地	車で避難可
粟津	小松大谷高等学校	津波倉町チ1	
矢田野	こまつドーム第１駐車場	林町ほ5番	○

緊急的な避難場所

指定避難所までの移動に危険（土砂災害や中小河川の氾濫等）がある中山間部の地域において、土砂災害警戒情報（警戒レベル４相当）が発令された場合に緊急的に避難する場所。

校下・地区	名称	所在地
粟津	馬場町会館	馬場町わ 37
粟津	牧口町コミュニティセンター	牧口町ハ 40-1
粟津	井口公民館	井口町い 105
粟津	西原町会館	西原町い 16-3
粟津	小山田町コミュニティセンター	小山田町ニ-101
粟津	南陽会館	南陽町1-33
矢田野	上荒屋町会館	上荒屋町チ 44-1
木場	木場台会館	木場町已12-4
串	串町会館	串町6-1

自主避難所

校下・地区	名称	所在地
符津	南部公民館	島町又43

避難行動判定フロー

自宅が洪水の早期立退き避難区域に該当
・家屋倒壊等氾濫想定区域内
・浸水深が3.0m以上
・浸水継続時間が72時間以上
・土砂災害警戒区域内

→ はい → 警戒レベル3「高齢者等避難」で早期立ち退き避難（避難場所・避難所等の避難先へ水平避難）

→ いいえ → 自宅が内水・洪水の浸水想定区域に該当

→ いいえ → 避難の必要はありません

→ はい → 内水・洪水浸水深が深い方で浸水しない階がある

→ はい → 警戒レベル4「避難指示」までに必ず避難場所・避難所等へ避難（水平避難）

→ いいえ → 水が引くまでの必要な備えがある

→ はい → 在宅避難（垂直避難）

要配慮者利用施設をご利用の方は、施設管理者の指示に従ってください。施設の一覧は小松市のホームページをご確認ください。

浸水の継続時間は小松市デジタル版水害ハザードマップで確認できます。

避難の注意点

1．避難する前に確認
・デマ情報に注意し公共放送や防災アプリから正確な情報を収集しましょう。
・電気スイッチ、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。
・非常持ち出し品を準備しましょう。
・家族の安全を確認し、親族や知人に避難することを連絡しましょう。

2．複数人での避難を
・みんなで協力し合い、早めに避難しましょう。
・体の不自由な方には複数人で協力し同伴して避難しましょう。
・外国人の方がいる場合は、避難誘導を心掛けましょう。

3．避難の際に注意すべきこと
・大雨時の河川や水路は短時間で水位が上昇するため近づかない。
・アンダーパスは、鉄道や道路などの下を通過する施設で、雨水が溜まりやすい場所です。降雨時は急激に水位が上昇することがあるため通行には十分注意しましょう。
・氾濫水は茶色く濁っていることが多く、水路や道路の境がわからなくなります。やむを得ず水に浸かった場所を移動するときは、棒などで足下を確認しながら移動しましょう。

4．適切な避難方法
・近くの避難場所や避難所への水平避難や、自宅での垂直避難が困難な場合は、浸水しない地域の親戚、友人宅への避難も有効です。

5．屋内安全確保
・浸水がすでに始まっている場合は、今いる建物内で垂直避難！
・地下からは、早く避難しましょう。

早期の立退き避難が必要な区域

以下の区域では早期の立退き避難が必要です。
①浸水深が3.0m以上　②家屋倒壊等氾濫想定区域
③浸水継続時間が長い区域（72時間以上）　④土砂災害警戒区域内
※内水氾濫による早期立退き避難が必要な区域は設定していません。

①浸水深が3.0m以上
②家屋倒壊等氾濫想定区域
氾濫流　河岸侵食
③浸水継続時間が長い区域（72時間以上）
④土砂災害警戒区域内
急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）　土石流　地すべり

デジタル版水害ハザードマップや洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップも日頃から確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171とは、浸水害や地震、津波等の災害の発生により、被災地への通信が増加し、電話がつながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。
インターネットを利用した災害用伝言板web171はこちら
web171

伝言の録音
伝言の再生
171にダイヤル
1をダイヤル　2をダイヤル
電話番号(固定電話へは市外局番から)
※30秒まで
伝言が録音される　伝言が再生される

避難訓練への参加について

・町内会（自主防災組織）や市の避難訓練に参加しましょう。
・ハザードマップを活用し、避難場所や避難経路を家族で相談し決めておきましょう。
・土のうや水のう作り・積み上げや止水板設置の訓練を行いましょう。

非常時持出し品

備蓄品
食料や水（最低３日分、できれば１週間分）× 家族分
生活用品（ティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレなど）

□水
□食品
□防災用ヘルメット
□衣類・下着
□レインウェア
□結なしのズック靴
□携帯トイレ
□軍手
□救急用品
□貴重品（現金、通帳、マイナンバーカードなどの身分証明証）
□懐中電灯
□携帯ラジオ
□予備電池・携帯充電器
□マッチ・ろうそく
□使い捨てカイロ
□ブランケット
□洗面用具
□歯ブラシ・歯磨き粉
□タオル
□ペン・ノート

感染症の備え：マスク、手指消毒用アルコール、石鹸・ハンドソープ、ウェットティッシュ、体温計
子供の備え：ミルク、使い捨て哺乳瓶、離乳食、携帯カトラリー、子供用紙オムツ、お尻ふき、携帯用お尻洗浄機、ネックライト、おりものシート、サニタリーショーツ、中身の見えないごみ袋、防犯ブザー/ホイッスル
高齢者の備え：大人用紙パンツ、杖、補聴器、介護食、入れ歯・洗浄剤、お尻ふき、吸水パッド、デリケートソーン、洗浄剤、持病の薬、お薬手帳
ペットの備え：フード、首輪・リード、ケージ、ペットキャリー、ビニール袋、ペットシーツ、トイレシート
女性の備え：生理用品
熱中症の備え：保冷剤、冷感スプレー、塩分タブレット、携帯扇風機、帽子、日傘

ご自身の環境に合わせて必要なものを準備し、定期的にチェックしましょう。

凡例

指定避難所
指定緊急避難場所
緊急的な避難場所
自主避難所
アンダーパス・地下道（浸水時には通れない可能性あり）

内水浸水想定区域（想定浸水深）
3.0m － 5.0m
0.5m － 3.0m
0.5m未満

土砂災害警戒区域
がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）
地すべり
土石流

排水ポンプ場

観測所
河川カメラ
雨量計
危機管理型水位計
水位計

緊急輸送道路
市境

浸水深の目安

10.0m～ 20.0m
5.0m ～ 10.0m
3.0m ～ 5.0m
0.5m ～ 3.0m
0.5m未満

日頃の被害低減策

●家の周りの整理、清掃

家の前の排水溝が詰まっていないかの確認や風で吹き飛ばされる物の撤去等が必要です。

●家庭でできる簡易水防

浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使って、水の侵入を減少させることができます。
大きめのゴミ袋やポリタンク等に水を入れて、水の侵入口となるところに並べます。長めの板と土嚢で臨時の止水板を作ります。

●家庭でできる水防対策工事

地域に住む一人ひとりができる取り組みを始めることも大切です。
雨水を一時的に貯める施設の設置や流活させることにより地域の浸水被害を低減することができます。小松市では以下の浸水対策の施工に対し、助成を行っています。

・雨水貯留槽・雨水浸透桝の設置
上下水道管理課
TEL:0761-24-8093

・浸水想定区域内における宅地かさ上げ、止水板等の購入・設置
建築住宅課
TEL:0761-24-8106

災害危険度と各種ハザードマップ

内水氾濫や洪水氾濫の発生する危険性の高い区域の情報は以下のホームページから収集できます。

気象庁　キキクル（危険度分布）浸水、土砂災害、洪水
国土交通省　川の防災情報
石川県河川総合情報システム

小松市では内水以外にも以下のハザードマップを作成し、公表しています。

・デジタル版水害ハザードマップ　・洪水ハザードマップ
・土砂災害ハザードマップ　・地震・津波ハザードマップ

デジタル版水害ハザードマップとは

デジタル版水害ハザードマップでは浸水継続時間や家屋倒壊等氾濫想定区域などの詳細な情報や、洪水や津波、土砂災害などの他の災害に関する情報もパソコンやスマートフォンから確認することができます。（外国語にも対応しています。）

防災に関する情報

様々な手段で情報が入手できるよう、普段から準備しておきましょう。

こまつ防災アプリ　事前登録が必要
こまつ防災アプリは避難指示などの避難情報や避難所の開設情報をスマートフォンにプッシュ通知で配信します。

小松市公式LINE　事前登録が必要
災害発生や防災情報などをお知らせします。

小松市公式ソーシャルメディア
小松市X（旧Twitter）@komatsu_city

Yahoo!防災速報　事前登録が必要
アプリを活用し、小松市からの緊急情報を配信します。
避難所の開設情報や災害への注意喚起情報が配信されます。

テレビ（データ放送）
テレビを視聴中（NHK,民放放送、ケーブルテレビ）にリモコンのdボタンから防災情報や気象情報を確認できます。

この地図は、小松市長の承認を得て、同市発行の小松市国土基本図縮尺 2,500 分の１を使用して作成したものである。「承認番号　令和６年度　まちデ第 294 号」
山間地は地理院タイル（国土地理院）を加工して作成したものである。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 435」